

リスク管理 (単体)

〈信用リスク〉

信用リスク関連データ

■信用リスクに関するエクスポージャーの期末残高〈地域別〉・〈業種別〉うち、三月以上延滞又はデフォルト債権・〈残存期間別〉 (単位：百万円)

	2015年3月末						
	計	貸出金・ 外国為替等	有価証券	オフ・バランス 取引	派生商品 取引	その他	うち、三月以 上延滞又は デフォルト
地域別							
国内	32,971,785	24,789,164	3,384,374	3,184,740	900,371	713,134	398,560
海外	—	—	—	—	—	—	—
標準的手法を適用するエクスポージャー	118,455	293	—	—	—	118,162	10
計	33,090,241	24,789,457	3,384,374	3,184,740	900,371	831,296	398,570
業種別							
製造業	2,675,875	2,092,299	255,500	304,013	21,231	2,831	91,748
農業、林業	23,629	23,221	304	101	1	—	101
漁業	1,298	1,257	40	0	1	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	11,199	9,043	1,648	474	33	—	5
建設業	440,267	327,578	34,110	77,362	1,068	146	9,667
電気・ガス・熱供給・水道業	196,873	157,025	19,507	16,830	3,509	—	—
情報通信業	238,344	198,962	18,846	19,388	778	368	12,239
運輸業、郵便業	453,979	396,435	21,825	32,330	3,302	85	25,484
卸売業、小売業	2,075,074	1,806,202	118,797	120,808	21,186	8,079	97,276
金融業、保険業	2,595,211	1,119,619	120,933	220,306	827,856	306,495	806
不動産業	3,432,400	3,331,812	32,660	55,155	11,930	841	62,904
物品賃貸業	316,054	294,328	5,228	14,888	1,542	65	1,738
各種サービス業	1,198,593	1,053,065	48,394	89,212	7,576	344	38,655
個人	6,602,853	6,542,355	—	60,260	—	238	57,687
我が国の政府・地方公共団体・ 政府関係機関・地方三公社等	11,770,368	7,034,482	2,594,334	2,121,133	353	20,065	234
外国の中央政府・中央銀行等	112,526	3,670	108,856	—	—	—	7
その他	827,234	397,802	3,386	52,473	—	373,572	2
標準的手法を適用するエクスポージャー	118,455	293	—	—	—	118,162	10
計	33,090,241	24,789,457	3,384,374	3,184,740	900,371	831,296	398,570
残存期間別							
1年以下	3,187,759	1,616,939	664,052	713,719	154,869	38,179	/
1年超3年以下	2,527,257	1,635,905	412,148	147,962	292,177	39,064	/
3年超5年以下	2,765,211	1,893,038	648,225	34,991	152,464	36,492	/
5年超7年以下	2,275,429	1,313,262	603,313	16,972	256,902	84,978	/
7年超	11,009,108	9,992,934	734,831	97,547	43,958	139,836	/
期間の定めのないもの等	11,207,019	8,337,083	321,804	2,173,547	—	374,583	/
標準的手法を適用するエクスポージャー	118,455	293	—	—	—	118,162	/
計	33,090,241	24,789,457	3,384,374	3,184,740	900,371	831,296	/

- (注) 1. 先進的内部格付手法が適用されるエクスポージャーを記載しております (信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーを除いております)。但し、個々の債権額、その合計額、信用リスク・アセットの総額が極めて小さい資産区分等は内部格付手法の適用除外資産として標準的手法を適用してリスク・アセットを算出しております。
2. 先進的内部格付手法を適用するエクスポージャーは引当金等控除前、部分直接償却実施前の残高を記載しております。また、標準的手法を適用するエクスポージャーは引当金等控除後、部分直接償却実施後、信用リスク削減手法の効果を勘案した後の残高を記載しております。
3. 「貸出金・外国為替等」は現金預け金、コールローン、買入金銭債権、特定取引資産、貸出金、外国為替等の取引を含めて表示しております。
4. 「オフ・バランス取引」は支払承諾見返、コミットメント、信託勘定貸出金等と与信相当額へ引き直した値 (CCF勘案後) にて表示しております。(CCF = Credit Conversion Factor)
5. 中央清算機関関連エクスポージャーはエクスポージャーの種類「その他」に含めて表示しております。

(単位：百万円)

	2016年3月末						うち、三月以上延滞又はデフォルト
	計	貸出金・外国為替等	有価証券	オフ・バランス取引	派生商品取引	その他	
地域別							
国内	34,332,487	27,717,025	2,657,652	2,541,832	599,847	816,129	350,516
海外	—	—	—	—	—	—	—
標準的手法を適用するエクスポージャー	122,821	—	—	—	—	122,821	21
計	34,455,308	27,717,025	2,657,652	2,541,832	599,847	938,950	350,537
業種別							
製造業	2,575,156	2,018,471	254,178	281,104	18,897	2,503	77,399
農業、林業	21,381	20,946	180	214	40	—	229
漁業	1,423	1,392	20	0	10	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	10,568	8,209	1,511	825	21	—	4
建設業	440,583	321,041	34,347	83,103	2,065	24	6,389
電気・ガス・熱供給・水道業	218,447	175,921	19,507	18,579	4,438	—	—
情報通信業	260,516	212,856	22,862	22,399	2,398	0	9,062
運輸業、郵便業	503,114	428,131	41,505	30,393	3,034	50	55,539
卸売業、小売業	2,005,715	1,734,468	125,705	123,849	19,774	1,916	90,450
金融業、保険業	2,460,639	1,124,796	79,288	277,878	518,318	460,357	704
不動産業	3,723,336	3,601,833	39,492	63,007	18,223	779	23,487
物品賃貸業	292,641	270,995	4,735	15,279	1,573	56	792
各種サービス業	1,231,835	1,068,308	47,598	104,926	10,708	293	35,553
個人	6,643,664	6,579,744	—	63,584	15	319	50,666
我が国の政府・地方公共団体・政府関係機関・地方三公社等	13,034,196	9,772,349	1,787,001	1,456,684	325	17,836	221
外国の中央政府・中央銀行等	198,494	3,280	195,214	—	—	—	13
その他	710,772	374,277	4,503	—	—	331,991	1
標準的手法を適用するエクスポージャー	122,821	—	—	—	—	122,821	21
計	34,455,308	27,717,025	2,657,652	2,541,832	599,847	938,950	350,537
残存期間別							
1年以下	2,645,709	1,556,252	215,749	752,551	93,851	27,305	/
1年超3年以下	2,327,095	1,593,813	349,490	164,200	159,618	59,973	/
3年超5年以下	3,378,495	2,206,639	856,513	34,808	216,475	64,057	/
5年超7年以下	1,482,928	1,028,494	206,261	19,720	87,674	140,777	/
7年超	11,377,022	10,342,455	686,618	113,933	42,227	191,788	/
期間の定めのないもの等	13,121,235	10,989,370	343,019	1,456,618	—	332,226	/
標準的手法を適用するエクスポージャー	122,821	—	—	—	—	122,821	/
計	34,455,308	27,717,025	2,657,652	2,541,832	599,847	938,950	/

- (注) 1. 先進的内部格付手法が適用されるエクスポージャーを記載しております（信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーを除いております）。但し、個々の債権額、その合計額、信用リスク・アセットの総額が極めて小さい資産区分等は内部格付手法の適用除外資産として標準的手法を適用してリスク・アセットを算出しております。
2. 先進的内部格付手法を適用するエクスポージャーは引当金等控除前、部分直接償却実施前の残高を記載しております。また、標準的手法を適用するエクスポージャーは引当金等控除後、部分直接償却実施後、信用リスク削減手法の効果を実行した後の残高を記載しております。
3. 「貸出金・外国為替等」は現金預け金、コールローン、買入金銭債権、特定取引資産、貸出金、外国為替等の取引を含めて表示しております。
4. 「オフ・バランス取引」は支払承諾見返、コミットメント、信託勘定貸出金等を与信相当額へ引き直した値（CCF勘定後）にて表示しております。（CCF = Credit Conversion Factor）
5. 中央清算機関関連エクスポージャーはエクスポージャーの種類「その他」に含めて表示しております。

■一般貸倒引当金及び特定海外債権引当勘定

(単位：百万円)

	2015年3月期			2016年3月期		
	期首残高	期中増減	期末残高	期首残高	期中増減	期末残高
一般貸倒引当金	72,348	△16,816	55,532	55,532	3,231	58,763
特定海外債権引当勘定	1	△1	0	0	0	0

(注) 一般貸倒引当金は、地域別、業種別の区分は行っておりません。

■個別貸倒引当金〈地域別〉・〈業種別〉

(単位：百万円)

	2015年3月期			2016年3月期		
	期首残高	期中増減	期末残高	期首残高	期中増減	期末残高
地域別						
国内	54,114	△10,685	43,428	43,421	72	43,494
海外	—	—	—	—	—	—
計	54,114	△10,685	43,428	43,421	72	43,494
業種別						
製造業	11,920	△2,055	9,864	9,864	△2,624	7,240
農業、林業	216	△191	25	25	59	84
漁業	—	—	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	3	△0	3	3	△0	3
建設業	1,458	△114	1,343	1,343	△834	508
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—	—
情報通信業	2,002	659	2,661	2,661	△115	2,546
運輸業、郵便業	2,761	732	3,494	3,494	9,437	12,931
卸売業、小売業	19,241	△4,209	15,031	15,031	△2,523	12,507
金融業、保険業	2,866	△2,552	314	314	△51	263
不動産業	4,534	△1,844	2,689	2,689	△1,036	1,653
物品賃貸業	20	56	77	77	△62	15
各種サービス業	4,532	△589	3,943	3,943	△1,254	2,688
個人	2,914	△866	2,047	2,047	△511	1,536
我が国の政府・地方公共団体・ 政府関係機関・地方三公社等	—	—	—	—	—	—
外国の中央政府・中央銀行等	—	—	—	—	—	—
その他	1,641	290	1,931	1,924	△409	1,514
計	54,114	△10,685	43,428	43,421	72	43,494

■貸出金償却額〈業種別〉

(単位：百万円)

	2015年3月期	2016年3月期
製造業	822	1,077
農業、林業	4	—
漁業	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—
建設業	66	116
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—
情報通信業	314	106
運輸業、郵便業	614	17,035
卸売業、小売業	4,676	4,689
金融業、保険業	△0	△1
不動産業	271	19
物品賃貸業	—	282
各種サービス業	1,294	624
個人	209	77
我が国の政府・地方公共団体・ 政府関係機関・地方三公社等	—	—
外国の中央政府・中央銀行等	—	—
その他	—	—
計	8,274	24,028

【標準的手法が適用されるエクスポージャー】

■リスク・ウェイトの区分ごとのエクスポージャー

(単位:百万円)

	2015年3月末		2016年3月末	
	格付有り	格付無し	格付有り	格付無し
0%	569	7,592	116	7,344
10%	—	17,946	—	26,669
20%	12,326	8	29,857	13
35%	—	—	—	—
50%	1	—	—	—
75%	—	—	—	—
100%	0	79,990	—	58,787
150%	6	4	—	21
250%	—	11	—	11
350%	—	—	—	—
1250%	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
計	12,903	105,552	29,974	92,847

(注) 1. 格付は適格格付機関が付与しているものに限定しております。

2. リスク・ウェイトの区分ごとのエクスポージャーは、信用リスク削減手法の効果を勘案した後の残高で記載しております。

3. 上記1250%のリスク・ウェイトが適用されるエクスポージャーは、自己資本比率告示第79条の5第2項第2号、第177条の2第2項第2号及び第247条第1項(自己資本比率告示第125条、第127条及び第136条第1項において準用する場合に限る。)の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用されるエクスポージャーの額であります。

【内部格付手法が適用されるエクスポージャー】

■スロットティング・クライテリアに割り当てられた特定貸付債権のリスク・ウェイトの区分ごとの残高

(1) プロジェクト・ファイナンス、オブジェクト・ファイナンス、事業用不動産向け貸付 (単位:百万円)

スロットティング・クライテリア	残存期間	リスク・ウェイト	2015年3月末	2016年3月末
優	2年半未満	50%	6,780	2,210
	2年半以上	70%	27,215	25,640
良	2年半未満	70%	43,389	25,336
	2年半以上	90%	39,217	44,533
可	期間の別なし	115%	74,911	72,589
弱い	期間の別なし	250%	—	5,650
デフォルト	期間の別なし	0%	4,217	1,606
計			195,731	177,568

(2) ボラティリティの高い事業用不動産向け貸付 (単位:百万円)

スロットティング・クライテリア	残存期間	リスク・ウェイト	2015年3月末	2016年3月末
優	2年半未満	70%	—	—
	2年半以上	95%	—	—
良	2年半未満	95%	—	—
	2年半以上	120%	—	—
可	期間の別なし	140%	7,950	10,758
弱い	期間の別なし	250%	—	—
デフォルト	期間の別なし	0%	—	—
計			7,950	10,758

■マーケット・ベース方式の簡易手法が適用される株式等エクスポージャーのリスク・ウェイトの区分ごとの残高

(単位:百万円)

リスク・ウェイト	2015年3月末	2016年3月末
300%	52,473	—
400%	3,403	4,517
計	55,876	4,517

■事業法人向けエクスポージャー

(単位：百万円)

格付区分	2015年3月末							
	PD推計値 (注1)	LGD推計値 (注1)	ELdefault推計値 (注1)	RWの 加重平均値	オン・バランス EAD	オフ・バランス EAD	コミットメント の未引出額	未引出額に乗ずる 掛目の加重平均値
SA・A	0.15%	32.25%	/	25.32%	2,824,675	402,059	333,306	75.00%
B～E	1.17%	26.38%	/	48.93%	6,093,168	500,219	372,565	75.00%
F・G	11.14%	22.70%	/	91.81%	611,849	39,798	13,640	75.00%
デフォルト	100.00%	31.31%	44.45%	17.72%	314,497	4,204	500	75.00%
計	/	/	/	/	9,844,190	946,281	720,012	75.00%

(注) 1. EADによる加重平均値
2. スロッシング・クライテリアに割り当てられた特定貸付債権は含まれておりません。

(単位：百万円)

格付区分	2016年3月末							
	PD推計値 (注1)	LGD推計値 (注1)	ELdefault推計値 (注1)	RWの 加重平均値	オン・バランス EAD	オフ・バランス EAD	コミットメント の未引出額	未引出額に乗ずる 掛目の加重平均値
SA・A	0.15%	31.43%	/	25.49%	2,892,066	360,989	322,420	75.00%
B～E	1.24%	25.82%	/	50.08%	6,232,687	520,219	407,347	75.00%
F・G	9.56%	23.69%	/	90.80%	575,418	41,904	17,928	75.00%
デフォルト	100.00%	30.61%	42.26%	24.23%	279,179	3,056	550	75.00%
計	/	/	/	/	9,979,352	926,171	748,246	75.00%

(注) 1. EADによる加重平均値
2. スロッシング・クライテリアに割り当てられた特定貸付債権は含まれておりません。

■ソブリン向けエクスポージャー

(単位：百万円)

格付区分	2015年3月末							
	PD推計値 (注)	LGD推計値 (注)	ELdefault推計値 (注)	RWの 加重平均値	オン・バランス EAD	オフ・バランス EAD	コミットメント の未引出額	未引出額に乗ずる 掛目の加重平均値
SA・A	0.00%	35.40%	/	0.31%	9,761,545	2,121,133	—	—
B～E	1.71%	35.40%	/	85.65%	725	288	—	—
F・G	16.27%	10.43%	/	58.40%	3,703	64	—	—
デフォルト	100.00%	9.36%	8.56%	15.55%	241	—	—	—
計	/	/	/	/	9,766,216	2,121,486	—	—

(注) EADによる加重平均値

(単位：百万円)

格付区分	2016年3月末							
	PD推計値 (注)	LGD推計値 (注)	ELdefault推計値 (注)	RWの 加重平均値	オン・バランス EAD	オフ・バランス EAD	コミットメント の未引出額	未引出額に乗ずる 掛目の加重平均値
SA・A	0.00%	34.72%	/	0.28%	11,779,305	1,456,684	—	—
B～E	1.79%	34.72%	/	82.81%	577	236	—	—
F・G	15.30%	10.73%	/	59.44%	3,555	88	—	—
デフォルト	100.00%	10.13%	8.79%	16.79%	235	—	—	—
計	/	/	/	/	11,783,673	1,457,009	—	—

(注) EADによる加重平均値

■金融機関等向けエクスポージャー

(単位:百万円)

格付区分	2015年3月末							
	PD推計値 (注)	LGD推計値 (注)	ELdefault推計値 (注)	RWの 加重平均値	オン・バランス EAD	オフ・バランス EAD	コミットメント の未引出額	未引出額に乗ずる 掛目の加重平均値
S A・A	0.12%	33.05%	/	37.03%	681,152	286,834	—	—
B～E	0.65%	33.90%	/	48.02%	75,213	20,214	21,518	75.00%
F・G	10.98%	7.23%	/	29.34%	105	—	—	—
デフォルト	—	—	—	—	—	—	—	—
計	/	/	/	/	756,471	307,049	21,518	75.00%

(注) EADによる加重平均値

(単位:百万円)

格付区分	2016年3月末							
	PD推計値 (注)	LGD推計値 (注)	ELdefault推計値 (注)	RWの 加重平均値	オン・バランス EAD	オフ・バランス EAD	コミットメント の未引出額	未引出額に乗ずる 掛目の加重平均値
S A・A	0.15%	29.36%	/	34.38%	665,787	206,564	—	—
B～E	0.59%	36.21%	/	68.31%	58,964	39,250	34,905	75.00%
F・G	13.68%	27.50%	/	124.60%	19	—	—	—
デフォルト	—	—	—	—	—	—	—	—
計	/	/	/	/	724,770	245,814	34,905	75.00%

(注) EADによる加重平均値

■PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャー

(単位:百万円)

格付区分	2015年3月末		
	PD推計値(注)	RWの加重平均値	残高
S A・A	0.11%	117.52%	236,098
B～E	0.68%	223.28%	73,028
F・G	10.98%	584.21%	4,292
デフォルト	100.00%	1125.00%	2,308
計	/	/	315,726

(注) 残高による加重平均値

(単位:百万円)

格付区分	2016年3月末		
	PD推計値(注)	RWの加重平均値	残高
S A・A	0.12%	123.76%	261,068
B～E	0.77%	232.42%	70,008
F・G	9.12%	537.03%	4,733
デフォルト	100.00%	1125.00%	1,130
計	/	/	336,942

(注) 残高による加重平均値

■リテール向けエクスポージャー

(単位：百万円)

	2015年3月末						
	PD推計値 (注)	LGD推計値 (注)	RWの 加重平均値	オン・バランス EAD	オフ・バランス EAD	コミットメント の未引出額	未引出額に 乗ずる掛目の 加重平均値
居住用不動産向け エクスポージャー	/	/	/	5,234,954	18,250	—	—
非デフォルト	1.08%	31.65%	28.04%	5,202,382	17,926	—	—
デフォルト	100.00%	32.58%	/	32,571	323	—	—
適格リボルビング型リテール向け エクスポージャー	/	/	/	57,705	24,014	282,138	8.51%
非デフォルト	3.43%	59.79%	48.44%	57,503	23,995	282,034	8.51%
デフォルト	100.00%	59.79%	/	201	18	103	18.07%
その他リテール向け エクスポージャー	/	/	/	1,541,842	24,062	38,432	30.14%
非デフォルト	1.34%	36.75%	31.91%	1,502,322	23,561	38,367	30.12%
デフォルト	100.00%	39.52%	/	39,520	500	65	44.50%

(注) EADによる加重平均値

(単位：百万円)

	2016年3月末						
	PD推計値 (注)	LGD推計値 (注)	RWの 加重平均値	オン・バランス EAD	オフ・バランス EAD	コミットメント の未引出額	未引出額に 乗ずる掛目の 加重平均値
居住用不動産向け エクスポージャー	/	/	/	5,361,450	22,643	—	—
非デフォルト	0.93%	26.54%	20.41%	5,331,986	22,150	—	—
デフォルト	100.00%	28.31%	/	29,464	492	—	—
適格リボルビング型リテール向け エクスポージャー	/	/	/	57,125	22,691	288,640	7.86%
非デフォルト	3.37%	58.34%	46.92%	56,947	22,676	288,557	7.86%
デフォルト	100.00%	58.34%	/	177	14	82	17.82%
その他リテール向け エクスポージャー	/	/	/	1,506,382	25,070	41,879	33.17%
非デフォルト	1.31%	33.28%	29.22%	1,471,737	24,568	41,826	33.15%
デフォルト	100.00%	38.27%	/	34,644	502	53	49.73%

(注) EADによる加重平均値

■直前期における損失の実績値及び当該実績値と過去の実績値との対比 (注1) (注2)

(単位: 百万円)

	2015年3月期	2016年3月期
りそな銀行(単体)	△24,887 (注4)	24,842 (注4)
うち 事業法人向けエクスポージャー	△6,089	21,707
ソブリン向けエクスポージャー	△1	△2
金融機関等向けエクスポージャー	—	—
居住用不動産向けエクスポージャー	△151	△57
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー(注3)	—	—
その他リテール向けエクスポージャー	2,010	1,207

- (注) 1. 損失額の実績値は、当該期間の与信関連費用(不良債権処理額、一般貸倒引当金純繰入額、信託勘定不良債権処理額、償却債権取立益)を指しております。なお、不良債権処理額には、貸出金償却、個別貸倒引当金純繰入額、特定海外債権引当勘定純繰入額、バルクセール・個別売却損益、その他の引当金純繰入額を含んでおります。また、エクスポージャー区分ごとの損失額の実績値については、正常先・要注意先の一般貸倒引当金純繰入額、及び責任共有制度に伴う引当金純繰入額を含めておりません。引当金の戻入等により利益が発生している場合には△を付しております。
2. PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャーについては、損失額を与信関連費用として計上していない(信用リスクに伴うものかの判定が困難である)ことから、損失額の実績値には含めておりません。
3. りそなホールディングス連結子会社の保証が付されているエクスポージャーに限定されるため、上記のエクスポージャー区分ごとの計数においては、損失額の実績値の表示を割愛しております。
4. 適用除外資産に係る与信関連費用を含んでおります。

要因分析

2016年3月期の与信関連費用は、前年度比497億円増加し、248億円となっております。

貸倒引当金の戻入一巡並びに上期に発生した大口先のランクダウンに関連して保守性を重視した個別貸倒引当金の積み増しを行ったこと等が主因であります。

■長期にわたる損失額の推計値と実績値との対比 (注1) (注2)

(単位: 百万円)

	2015年3月末(注4)		2016年3月期
	損失額の推計値	引当控除後(注5)	損失額の実績値(注6)
りそな銀行(単体)	209,168	△22,518	24,842 (注7)
うち 事業法人向けエクスポージャー	180,286	△28,234	21,707
ソブリン向けエクスポージャー	120	115	△2
金融機関等向けエクスポージャー	597	597	—
居住用不動産向けエクスポージャー	3,363	1,342	△57
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー(注3)	—	—	—
その他リテール向けエクスポージャー	19,609	△1,526	1,207

- (注) 1. PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャーについては、損失額を与信関連費用として計上していない(信用リスクに伴うものかの判定が困難である)ことから、損失額の推計値及び実績値には含めておりません。
2. りそなホールディングス連結子会社の保証が付されているエクスポージャーについては、損失額の推計値には含めておりません。
3. りそなホールディングス連結子会社の保証が付されているエクスポージャーに限定されるため、上記のエクスポージャー区分ごとの計数においては、損失額の推計値及び実績値の表示を割愛しております。
4. 損失額の推計値は、2015年3月末の期待損失額(EL)を用いております。
5. 損失額の推計値の引当控除後については、損失額の推計値から要管理先以下に対する引当額(個別貸倒引当金、一般貸倒引当金、部分直接償却額)を控除した金額を表示しております。
6. 損失額の実績値は、当該期間の与信関連費用(不良債権処理額、一般貸倒引当金純繰入額、信託勘定不良債権処理額、償却債権取立益)を指しております。なお、不良債権処理額には、貸出金償却、個別貸倒引当金純繰入額、特定海外債権引当勘定純繰入額、バルクセール・個別売却損益、その他の引当金純繰入額を含んでおります。また、エクスポージャー区分ごとの損失額の実績値については、正常先・要注意先の一般貸倒引当金純繰入額、及び責任共有制度に伴う引当金純繰入額を含めておりません。引当金の戻入等により利益が発生している場合には△を付しております。
7. 損失額の実績値は、適用除外資産に係る与信関連費用を含んでおります。

〈信用リスク削減手法〉

■信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー

(単位：百万円)

	2015年3月末		
	保証	クレジット・デリバティブ	計
内部格付手法適用エクスポージャー	1,315,551	—	1,315,551
事業法人向けエクスポージャー	395,025	—	395,025
ソブリン向けエクスポージャー	48,539	—	48,539
金融機関等向けエクスポージャー	—	—	—
居住用不動産向けエクスポージャー	534,927	—	534,927
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	—	—	—
その他リテール向けエクスポージャー	337,059	—	337,059
標準的手法適用エクスポージャー	0	—	0
計	1,315,551	—	1,315,551

(注) 1. ファンド(みなし計算)の構成資産に係る信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャーの額は計上しておりません。
2. 適格担保による信用リスク削減手法が適用された標準的手法を適用したエクスポージャーは該当ありません。

(単位：百万円)

	2016年3月末		
	保証	クレジット・デリバティブ	計
内部格付手法適用エクスポージャー	1,185,809	—	1,185,809
事業法人向けエクスポージャー	341,364	—	341,364
ソブリン向けエクスポージャー	45,017	—	45,017
金融機関等向けエクスポージャー	—	—	—
居住用不動産向けエクスポージャー	489,289	—	489,289
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	—	—	—
その他リテール向けエクスポージャー	310,138	—	310,138
標準的手法適用エクスポージャー	3	—	3
計	1,185,812	—	1,185,812

(注) 1. ファンド(みなし計算)の構成資産に係る信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャーの額は計上しておりません。
2. 適格担保による信用リスク削減手法が適用された標準的手法を適用したエクスポージャーは該当ありません。

〈派生商品取引〉

■派生商品取引及び長期決済期間取引の実績

(単位：百万円)

	2015年3月末					2016年3月末				
	想定元本	時価	グロスの再構築コスト	グロスのアドオン	与信相当額	想定元本	時価	グロスの再構築コスト	グロスのアドオン	与信相当額
長期決済期間取引	9,445	△217	3	566	570	—	—	—	—	—
金利関連取引										
金利スワップ	31,987,145	35,504	349,051	193,743	542,794	21,602,832	34,722	312,041	105,812	417,853
金利オプション	407,692	2,478	2,478	1,542	4,021	337,477	2,373	3,127	387	3,515
小計	32,394,838	37,983	351,530	195,286	546,816	21,940,309	37,096	315,169	106,200	421,369
通貨関連取引										
通貨スワップ	1,149,385	2,888	92,939	55,903	148,843	946,863	△8,966	57,267	31,959	89,227
通貨オプション	675,454	35,842	35,842	15,291	51,133	482,099	△17,122	9,329	5,540	14,870
先物為替予約	1,395,147	80,770	129,984	23,593	153,578	1,277,586	32,693	56,061	18,317	74,379
小計	3,219,987	119,501	258,767	94,788	353,555	2,706,548	6,603	122,659	55,818	178,478
小計	35,614,825	157,484	610,297	290,074	900,371	24,646,858	43,700	437,828	162,019	599,847
一括清算ネットティング契約による与信相当額削減効果					475,596					355,913
担保による与信相当額削減効果(注3)					107,341					75,663
計(ネットティング・担保勘案後)					317,433					168,270

(注) 1. 与信相当額の算出に当たっては、自己資本比率告示の規定に従い、下記の取扱いとしております。

(1) 原契約期間が5営業日以内の外国為替関連取引については、与信相当額の算出から除いております。

(2) 与信相当額は、個々の派生商品取引を時価評価して算出した「グロスの再構築コスト(零を下回らないものに限る)」に、残存期間に応じた相場変動リスク「グロスのアドオン」を加算するカレント・エクスポージャー方式を採用して算出しております。

2. クレジット・デリバティブについては2016年3月末現在、取扱いがありません。

3. 担保付デリバティブ取引に係る与信相当額削減効果の内訳は以下のとおりであります。なお、担保の種類は全て現金担保であります。

差入	5,826百万円
受取	81,490百万円
受取-差入	75,663百万円

〈証券化エクスポージャー〉

■銀行がオリジネーターである場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャー

1. 保有する証券化エクスポージャーに関する情報

(1) 証券化エクスポージャー (再証券化エクスポージャーを除く)

(単位：百万円)

	2015年3月末										計	
	一般貸出 債権	住宅ローン 債権	アパート・ マンション ローン債権	クレジット カード 債権	リース料 債権	消費者 ローン 債権	オート ローン 債権	手形債権	診療報酬 債権	その他	残高	所要自己 資本の額
保有する証券化エク スポージャーの額	—	7,944	—	—	—	—	—	—	—	—	7,944	645
RW20%以下	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20%超 100%以下	—	4,731	—	—	—	—	—	—	—	—	4,731	306
100%超 1250%未満	—	3,213	—	—	—	—	—	—	—	—	3,213	339
1250%(注1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化取引に伴い増加した 自己資本に相当する額	—	—	2,382	—	—	—	—	—	—	—	2,382	2,382

- (注) 1. 自己資本比率告示第247条第1項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額
2. 保有する証券化エクスポージャーの額は、全てオン・バランス取引に係るもの

(単位：百万円)

	2016年3月末										計	
	一般貸出 債権	住宅ローン 債権	アパート・ マンション ローン債権	クレジット カード 債権	リース料 債権	消費者 ローン 債権	オート ローン 債権	手形債権	診療報酬 債権	その他	残高	所要自己 資本の額
保有する証券化エク スポージャーの額	—	3,211	—	—	—	—	—	—	—	—	3,211	219
RW20%以下	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20%超 100%以下	—	3,211	—	—	—	—	—	—	—	—	3,211	219
100%超 1250%未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1250%(注1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化取引に伴い増加した 自己資本に相当する額	—	—	1,727	—	—	—	—	—	—	—	1,727	1,727

- (注) 1. 自己資本比率告示第247条第1項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額
2. 保有する証券化エクスポージャーの額は、全てオン・バランス取引に係るもの

(2) 再証券化エクスポージャー 該当ありません。

2. 原資産に関する情報

(単位: 百万円)

	2015年3月末										
	一般貸出 債権	住宅ローン 債権	アパート・ マンション ローン債権	クレジット カード 債権	リース料 債権	消費者 ローン 債権	オート ローン 債権	手形債権	診療報酬 債権	その他	計
原資産の額	—	15,316	—	—	—	—	—	—	—	—	15,316
資産譲渡型証券化取引	—	15,316	—	—	—	—	—	—	—	—	15,316
三月以上延滞エクスポージャーの額又はデフォルトしたエクスポージャーの額	—	120	—	—	—	—	—	—	—	—	120
当期の損失額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合成型証券化取引	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三月以上延滞エクスポージャーの額又はデフォルトしたエクスポージャーの額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当期の損失額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当期に証券化を行ったエクスポージャーの額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化取引に伴い、当期中に認識した売却損益の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
早期償還条項付証券化エクスポージャーに関する事項											
実行済みの信用供与の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
オリジネーターとして留保するエクスポージャーに対する所要自己資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
投資家の持分に対して算出する所要自己資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化取引を目的として保有している資産の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位: 百万円)

	2016年3月末										
	一般貸出 債権	住宅ローン 債権	アパート・ マンション ローン債権	クレジット カード 債権	リース料 債権	消費者 ローン 債権	オート ローン 債権	手形債権	診療報酬 債権	その他	計
原資産の額	—	6,163	—	—	—	—	—	—	—	—	6,163
資産譲渡型証券化取引	—	6,163	—	—	—	—	—	—	—	—	6,163
三月以上延滞エクスポージャーの額又はデフォルトしたエクスポージャーの額	—	41	—	—	—	—	—	—	—	—	41
当期の損失額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合成型証券化取引	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三月以上延滞エクスポージャーの額又はデフォルトしたエクスポージャーの額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当期の損失額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当期に証券化を行ったエクスポージャーの額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化取引に伴い、当期中に認識した売却損益の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
早期償還条項付証券化エクスポージャーに関する事項											
実行済みの信用供与の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
オリジネーターとして留保するエクスポージャーに対する所要自己資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
投資家の持分に対して算出する所要自己資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化取引を目的として保有している資産の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■銀行がオリジネーターである場合におけるマーケット・リスク相当額の算出対象となる証券化エクスポージャー該当ありません。

■銀行が流動化プログラム(ABCP等)のスポンサーである場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャー

1. 保有する証券化エクスポージャーに関する情報

(1) 証券化エクスポージャー(再証券化エクスポージャーを除く)

(単位:百万円)

	2015年3月末										計	
	一般貸出 債権	住宅ローン 債権	アパート・ マンション ローン債権	クレジット カード 債権	リース料 債権	消費者 ローン 債権	オート ローン 債権	手形債権	診療報酬 債権	その他	残高	所要自己 資本の額
保有する証券化エク スポージャーの額	—	—	—	—	1,095	—	—	42,334	—	5,017	48,447	1,366
RW20%以下	—	—	—	—	1,095	—	—	16,185	—	2,674	19,954	118
20%超 100%以下	—	—	—	—	—	—	—	26,069	—	2,343	28,412	1,239
100%超 1250%未満	—	—	—	—	—	—	—	79	—	—	79	8
1250%(注1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化取引に伴い増加した 自己資本に相当する額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 自己資本比率告示第247条第1項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額

2. 保有する証券化エクスポージャーの額は、全てオン・バランス取引に係るもの

(単位:百万円)

	2016年3月末										計	
	一般貸出 債権	住宅ローン 債権	アパート・ マンション ローン債権	クレジット カード 債権	リース料 債権	消費者 ローン 債権	オート ローン 債権	手形債権	診療報酬 債権	その他	残高	所要自己 資本の額
保有する証券化エク スポージャーの額	—	—	—	—	—	—	—	38,662	—	4,744	43,407	1,254
RW20%以下	—	—	—	—	—	—	—	16,374	—	1,355	17,729	105
20%超 100%以下	—	—	—	—	—	—	—	22,234	—	3,389	25,624	1,143
100%超 1250%未満	—	—	—	—	—	—	—	53	—	—	53	5
1250%(注1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化取引に伴い増加した 自己資本に相当する額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 自己資本比率告示第247条第1項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額

2. 保有する証券化エクスポージャーの額は、全てオン・バランス取引に係るもの

(2) 再証券化エクスポージャー
該当ありません。

2. 原資産に関する情報

(単位:百万円)

	2015年3月末										
	一般貸出 債権	住宅ローン 債権	アパート・ マンション ローン債権	クレジット カード 債権	リース料 債権	消費者 ローン 債権	オート ローン 債権	手形債権	診療報酬 債権	その他	計
原資産の額	—	—	—	—	2,205	—	—	55,601	—	5,758	63,565
資産譲渡型証券化取引	—	—	—	—	2,205	—	—	55,601	—	5,758	63,565
三月以上延滞エクスポージャーの額又はデフォルトしたエクスポージャーの額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	12
当期の損失額	—	—	—	—	153	—	—	37	—	98	290
合成型証券化取引	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三月以上延滞エクスポージャーの額又はデフォルトしたエクスポージャーの額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当期の損失額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当期に証券化を行ったエクスポージャーの額(注)	—	—	—	—	—	—	—	91,069	—	3,710	94,780
証券化取引に伴い、当期中に認識した売却損益の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
早期償還条項付証券化エクスポージャーに関する事項											
実行済みの信用供与の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
オリジネーターとして留保するエクスポージャーに対する所要自己資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
投資家の持分に対して算出する所要自己資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化取引を目的として保有している資産の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) SPCが、CPを発行して取引先の保有する手形債権、リース料債権、売掛債権やこれらを裏付として発行された信託受益権を購入するABCP方式や、銀行・投資家からの借入により購入資金を賄うABL方式により証券化を行ったものであります。

(単位:百万円)

	2016年3月末										
	一般貸出 債権	住宅ローン 債権	アパート・ マンション ローン債権	クレジット カード 債権	リース料 債権	消費者 ローン 債権	オート ローン 債権	手形債権	診療報酬 債権	その他	計
原資産の額	—	—	—	—	—	—	—	56,427	—	5,202	61,630
資産譲渡型証券化取引	—	—	—	—	—	—	—	56,427	—	5,202	61,630
三月以上延滞エクスポージャーの額又はデフォルトしたエクスポージャーの額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2
当期の損失額	—	—	—	—	—	—	—	24	—	72	97
合成型証券化取引	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三月以上延滞エクスポージャーの額又はデフォルトしたエクスポージャーの額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当期の損失額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当期に証券化を行ったエクスポージャーの額(注)	—	—	—	—	—	—	—	84,211	—	5,558	89,770
証券化取引に伴い、当期中に認識した売却損益の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
早期償還条項付証券化エクスポージャーに関する事項											
実行済みの信用供与の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
オリジネーターとして留保するエクスポージャーに対する所要自己資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
投資家の持分に対して算出する所要自己資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化取引を目的として保有している資産の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) SPCが、CPを発行して取引先の保有する手形債権、リース料債権、売掛債権やこれらを裏付として発行された信託受益権を購入するABCP方式や、銀行・投資家からの借入により購入資金を賄うABL方式により証券化を行ったものであります。

■銀行が流動化プログラム（ABCP等）のスポンサーである場合におけるマーケット・リスク相当額の算出対象となる証券化エクスポージャー
該当ありません。

■銀行が投資家である場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャー
該当ありません。

■銀行が投資家である場合におけるマーケット・リスク相当額の算出対象となる証券化エクスポージャー
該当ありません。

〈銀行勘定における出資・株式等エクスポージャー〉

■貸借対照表計上額

(単位：百万円)

	2015年3月末		2016年3月末	
	貸借対照表計上額	時価	貸借対照表計上額	時価
上場株式その他これに類する出資・株式等エクスポージャー	687,903	687,903	639,355	639,355
上記以外の出資・株式等エクスポージャー	106,267	106,267	114,259	114,259
計	794,170	794,170	753,615	753,615

■出資・株式等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額

(単位：百万円)

	2015年3月期	2016年3月期
売却益	45,221	31,364
売却損	△2,172	△38,877
償却	△107	△2,385
計	42,942	△9,898

(注) 損益計算書における株式関連損益について記載しております。

■貸借対照表で認識され、かつ、損益計算書で認識されない評価損益の額

(単位：百万円)

	2015年3月末	2016年3月末
評価損益	422,025	351,414

■貸借対照表及び損益計算書で認識されない評価損益の額

該当ありません。

■株式等エクスポージャーのポートフォリオの区分ごとの額

(単位：百万円)

	2015年3月末	2016年3月末
マーケット・ベース方式 (簡易手法)	55,876	4,517
マーケット・ベース方式 (内部モデル手法)	—	—
PD/LGD方式	315,726	336,942
他の金融機関等の資本調達手段のうち 普通株式等以外のものに係る エクスポージャー	45,010	55,010
特定項目のうち調整項目に算入されない 部分に係るエクスポージャー	5,727	5,729
その他	1	1
計	422,341	402,200

〈信用リスク・アセットのみなし計算〉

■信用リスク・アセットのみなし計算

(単位：百万円)

	2015年3月末	2016年3月末
信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーの額	123,141	133,811

〈銀行勘定における金利リスク〉

■アウトライヤー基準

自己資本比率規制において、銀行勘定の金利リスクについて、一定のストレス的な金利シナリオの下で発生する経済価値の減少額が自己資本の額の20%を超えるものを「アウトライヤー基準」とし、これに該当する場合には、リスク額の削減等の対応を求められる場合があります。当社における経済価値の減少額は以下のとおりであり、アウトライヤー基準には抵触しない結果となっております。

(単位：億円)

	2015年3月末基準		2016年3月末基準	
	経済価値の減少額	自己資本に対する割合	経済価値の減少額	自己資本に対する割合
アウトライヤー基準算出結果	202	1.5%	323	2.6%

(注) 1. 経済価値の減少額は、保有期間1年、観測期間5年で計測される信頼区間99%の金利ショックによって計算しております。
2. 満期のない流動性預金の金利リスク計測に当たり、内部モデルを使用しております。